



ISK

ニュースレター 2014年 11月号

豊かな国 幸せな国 ランキング オーストラリアは教育 世界で一番!!

この度イギリスのレガタム研究所が毎年発表する、繁栄指数 2014年度ランキングが発表されました。この指数は、142の国を対象に、「経済・起業とそのチャンス・政治状況・教育・健康・安全度・個人の自由・社会資本」の8カテゴリーを評価するものです。総合世界1位はノルウェー(6年連続) オーストラリアは7位、日本は19位、中国 54位

オーストラリアは教育で世界1位と評価されました。これは一概に学力が高いと言う事だけでは無く、オーストラリアの誰でも利用できる質の高い教育システムが評価された結果です。

以下、実際にこちらで子供を育ててきた私の感想です。

オーストラリアは小学生の頃はとてものんびりで、日本に帰省した際、娘を日本の小学2年生に体験入学させた時、九九を教えていて娘は全く知らず、日本は早いなーと驚いたのですが、中学1年生に入れた時にはすっかり追いついていて、今は日本の中学3年生の15歳ですが、娘がやっているMath Bは私が高校2年で習った数2Bで、来年の選択科目のMath Cは数3レベル、いつ追い抜いたのでしょうか？ 英語の今学期はあの難しいシェイクスピアのマクベスをやっていたり、文章能力、自分の意見をまとめる力は日本の中学生より格段に高い様に思います。

もっとオーストラリアの勉強、のんびりしているイメージがありましたが、今10年生の宿題の量は半端なく、でも日本のように塾に行く習慣は主流ではありません。学校の授業で実力を付けて行く、高校受験が無いのもいいですね。

自分の子供を英語も日本語も不自由無く、グローバル社会を生き抜いて行ける力を付けさせてあげたいと思いませんか？ ゴールドコーストで子供を育てるのは、皆様が思うより難しい事ではありません。留学ビザは簡単に取れますし、英語がわからないインターナショナルスチューデントを積極的に受け入れてくれる学校もあります。日本の夏休みには短期留学の日本の学生がとても多くやって来ています。

今月号も最後までご購入頂きまして有難うございました。 勝亦裕子/ISK不動産管理部